

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	(毎月決算型) 無期限 (2015年2月10日設定) (年2回決算型) 無期限 (2015年4月10日設定)	
運用方針	イーストスプリング・インド公益インフラ債券マザーファンド受益証券への投資を通じて、主としてインドの公益およびインフラ関連の債券(以下「公益インフラ債券」)に投資を行い、安定した収益の確保と信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。	
主要投資対象	イーストスプリング・インド公益インフラ債券マザーファンド(毎月決算型)／(年2回決算型)	イーストスプリング・インド公益インフラ債券マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	イーストスプリング・インド公益インフラ債券マザーファンド	インドの公益インフラ債券を主要投資対象とします。
組入制限	イーストスプリング・インド公益インフラ債券マザーファンド(毎月決算型)／(年2回決算型)	<ul style="list-style-type: none"> 外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。 株式(新株引受権証券および新株予約権証券を含みます。)への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以内とします。
	イーストスプリング・インド公益インフラ債券マザーファンド	<ul style="list-style-type: none"> 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。 株式(新株引受権証券および新株予約権証券を含みます。)への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以内とします。
分配方針	(毎月決算型) 原則として毎月10日(休業日の場合は翌営業日) (年2回決算型) 原則として毎年1月10日および7月10日(休業日の場合は翌営業日) 各ファンドの毎決算時に、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して分配金額を決定します。分配対象額が少額の場合は、分配を行わないことがあります。	

運用報告書 (全体版)

イーストスプリング・ インド公益インフラ債券ファンド (毎月決算型)／(年2回決算型)

(毎月決算型)

第125期(決算日2025年8月12日) 第128期(決算日2025年11月10日)
第126期(決算日2025年9月10日) 第129期(決算日2025年12月10日)
第127期(決算日2025年10月10日) 第130期(決算日2026年1月13日)

(年2回決算型)

第22期 (決算日2026年1月13日)

受益者のみなさまへ

平素は格別のお引立てにあずかり厚くお礼申し上げます。
さて、「イーストスプリング・インド公益インフラ債券ファンド(毎月決算型)／(年2回決算型)」は、上記の決算を行いましたので、ここに各期中の運用状況をご報告申し上げます。
今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

【お問い合わせ先】

電話番号: 03-5224-3400

(受付時間は営業日の午前9時から午後5時まで)

ホームページアドレス: <https://www.eastspring.co.jp/>

〒100-6905

東京都千代田区丸の内2-6-1丸の内パークビルディング

イーストスプリング・インド公益インフラ債券ファンド(毎月決算型)／(年2回決算型)

(毎月決算型)

○最近30期の運用実績

決 算 期	基 準 (分配落)	価 額			債 組 入 比	券 率	純 資 産 額
		税 分	込 配	み 金			
	円		円		%	%	百万円
101期(2023年8月10日)	9,080		45		1.0	92.1	34,262
102期(2023年9月11日)	9,221		45		2.0	91.9	36,088
103期(2023年10月10日)	9,282		45		1.1	92.7	37,635
104期(2023年11月10日)	9,427		45		2.0	91.7	39,834
105期(2023年12月11日)	9,014		45		△3.9	93.5	39,447
106期(2024年1月10日)	9,016		45		0.5	92.2	39,765
107期(2024年2月13日)	9,318		45		3.8	91.7	41,611
108期(2024年3月11日)	9,172		45		△1.1	88.9	41,109
109期(2024年4月10日)	9,456		45		3.6	91.8	42,557
110期(2024年5月10日)	9,641		45		2.4	93.6	43,534
111期(2024年6月10日)	9,701		45		1.1	87.5	44,754
112期(2024年7月10日)	9,945		45		3.0	88.7	46,486
113期(2024年8月13日)	9,075		45		△8.3	93.2	42,704
114期(2024年9月10日)	8,868		45		△1.8	91.4	42,001
115期(2024年10月10日)	9,236		45		4.7	92.0	44,028
116期(2024年11月11日)	9,381		45		2.1	92.6	44,307
117期(2024年12月10日)	9,227		45		△1.2	92.8	43,518
118期(2025年1月10日)	9,506		45		3.5	92.6	44,191
119期(2025年2月10日)	8,965		45		△5.2	91.7	41,439
120期(2025年3月10日)	8,741		45		△2.0	90.7	39,861
121期(2025年4月10日)	8,876		45		2.1	91.4	39,931
122期(2025年5月12日)	8,922		45		1.0	93.4	39,854
123期(2025年6月10日)	8,866		45		△0.1	92.0	39,428
124期(2025年7月10日)	8,879		45		0.7	90.4	39,283
125期(2025年8月12日)	8,803		45		△0.3	88.6	38,561
126期(2025年9月10日)	8,659		45		△1.1	90.1	37,825
127期(2025年10月10日)	8,974		45		4.2	90.7	38,892
128期(2025年11月10日)	8,985		45		0.6	89.7	38,746
129期(2025年12月10日)	9,033		45		1.0	91.5	38,700
130期(2026年1月13日)	9,034		45		0.5	93.0	38,516

(注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てです。

(注) 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、債券組入比率は実質比率を記載しております。

(注) 当ファンドは公表されている適切な指数が存在しないためベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

イーストスプリング・インド公益インフラ債券ファンド(毎月決算型)／(年2回決算型)

(毎月決算型)

○当作成期中の基準価額等の推移

決 算 期	年 月 日	基 準	価 額		債 組 入 比 率
			騰 落	率	
第125期	(期 首) 2025年 7月10日	円 8,879		% —	% 90.4
	7月末	8,901		0.2	92.7
	(期 末) 2025年 8月12日	8,848		△0.3	88.6
第126期	(期 首) 2025年 8月12日	8,803		—	88.6
	8月末	8,745		△0.7	90.3
	(期 末) 2025年 9月10日	8,704		△1.1	90.1
第127期	(期 首) 2025年 9月10日	8,659		—	90.1
	9月末	8,731		0.8	92.4
	(期 末) 2025年10月10日	9,019		4.2	90.7
第128期	(期 首) 2025年10月10日	8,974		—	90.7
	10月末	9,039		0.7	92.6
	(期 末) 2025年11月10日	9,030		0.6	89.7
第129期	(期 首) 2025年11月10日	8,985		—	89.7
	11月末	9,125		1.6	89.8
	(期 末) 2025年12月10日	9,078		1.0	91.5
第130期	(期 首) 2025年12月10日	9,033		—	91.5
	12月末	9,034		0.0	91.0
	(期 末) 2026年 1月13日	9,079		0.5	93.0

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

(注) 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、債券組入比率は実質比率を記載しております。

イーストスプリング・インド公益インフラ債券ファンド(毎月決算型)／(年2回決算型)

(年2回決算型)

○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 (分配落)	価 額			債 組 入 比	券 率	純 資 産 額
		税 分	込 配	み 金 騰 落 中 率			
18期(2024年1月10日)	円 14,996		円 0	% 2.7	% 92.3	百万円 15,055	
19期(2024年7月10日)	17,023		0	13.5	88.8	19,485	
20期(2025年1月10日)	16,760		0	△ 1.5	92.8	19,163	
21期(2025年7月10日)	16,141		0	△ 3.7	90.6	17,391	
22期(2026年1月13日)	16,931		0	4.9	93.2	17,330	

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てです。

(注) 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、債券組入比率は実質比率を記載しております。

(注) 当ファンドは公表されている適切な指数が存在しないためベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

○当期中の基準価額等の推移

年 月 日	基 準	価 額		債 組 入 比	券 率
		騰 落	率		
(期 首) 2025年7月10日	円 16,141		% -	% 90.6	
7月末	16,180		0.2	92.7	
8月末	15,978		△1.0	90.4	
9月末	16,035		△0.7	92.7	
10月末	16,686		3.4	93.0	
11月末	16,932		4.9	90.3	
12月末	16,846		4.4	91.6	
(期 末) 2026年1月13日	16,931		4.9	93.2	

(注) 騰落率は期首比です。

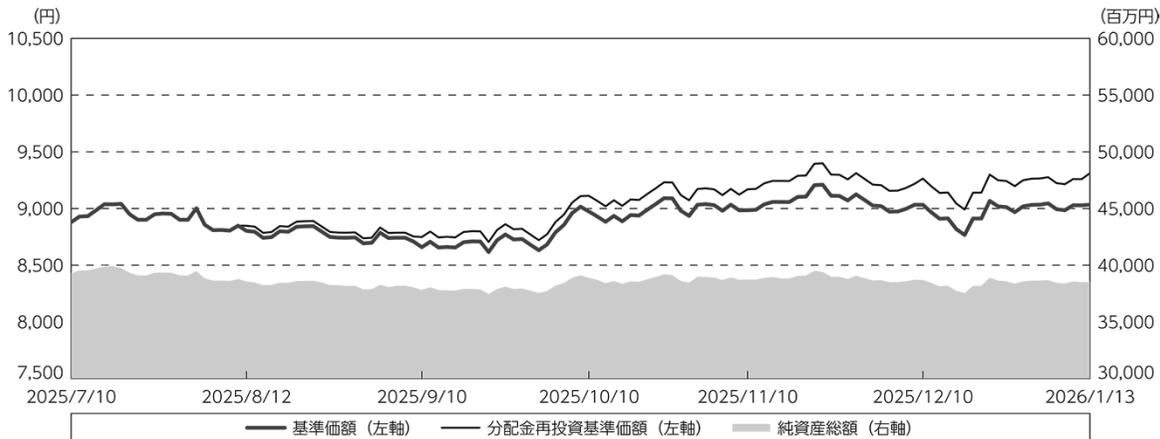
(注) 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、債券組入比率は実質比率を記載しております。

(毎月決算型)

○運用経過

(2025年7月11日～2026年1月13日)

基準価額等の推移について



第125期首：8,879円

第130期末：9,034円 (既払分配金(税込み)：270円)

騰落率：4.9% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、作成期首(2025年7月10日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 当ファンドにおいては、運用の基本方針に適合した、公表されている指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

基準価額の主な変動要因

当作成期の基準価額は上昇しました。

(上昇要因)

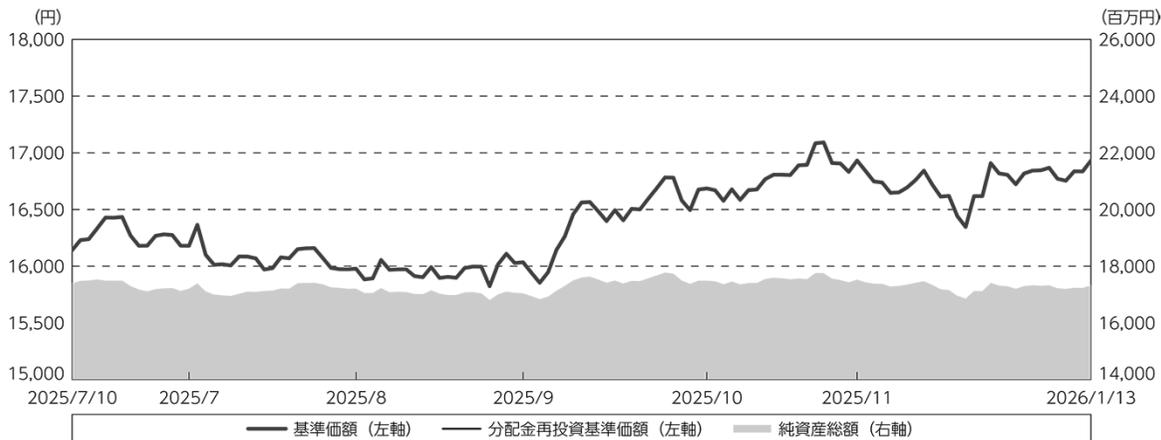
- ・保有している債券の価格上昇。
- ・インドルピーの対円での上昇。

(年2回決算型)

○運用経過

(2025年7月11日～2026年1月13日)

基準価額等の推移について



期首：16,141円

期末：16,931円 (既払分配金(税込み)：0円)

騰落率： 4.9% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、期首(2025年7月10日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 当ファンドにおいては、運用の基本方針に適合した、公表されている指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

基準価額の主な変動要因

当期の基準価額は上昇しました。

(上昇要因)

- ・保有している債券の価格上昇。
- ・インドルピーの対円での上昇。

(毎月決算型／年2回決算型)

投資環境について

インド債券市場

インド10年国債利回りは低下（価格は上昇）しました。

インド準備銀行（RBI、中央銀行）が2025年6月の金融政策決定会合で政策金利を市場予想よりも大幅に引き下げるとともに、金融政策スタンスを「緩和的」から「中立」に変更したことによって、更なる利下げ余地は限定的と市場参加者に受け止められ、当（作成）期首からインド国債利回りは上昇基調となりました。8月には米国による対インド関税（最大50%）の発動や、GST（物品・サービス税）減税案による財政赤字拡大への懸念が背景となり、インド国債利回りは大きく上昇しました。10月以降はインドのインフレ率が減速し、RBIは12月の会合で政策金利を0.25%引き下げましたが、インド国債利回りは横ばい圏で推移しました。社債の対国債スプレッドは小幅に縮小しました。

為替市場

インドルピーは対円で上昇しました。

インドルピーは、当（作成）期を通じて対米ドルで下落しました。米国との貿易交渉の合意期限が当初よりも後ろ倒しとなったことが市場の懸念を高め、インドルピーは当（作成）期末にかけて対米ドルで最安値を更新し続けました。米ドル円相場では、円安基調となりました。日銀は2025年11月までトランプ関税の経済への影響や日本国内の賃金・物価動向を慎重に見極める姿勢を示し利上げを先送りしました。その一方、米連邦準備制度理事会（FRB）は9月以降、複数回の利下げを実施しました。しかし、日本政府による積極的な財政運営に対する財政悪化懸念などから長期金利が上昇し、円は対米ドルで下落基調をたどりました。当（作成）期を通してみると、インドルピーは対円では上昇しました。

ポートフォリオについて

イーストスプリング・インド公益インフラ債券ファンド（毎月決算型）／（年2回決算型）

イーストスプリング・インド公益インフラ債券マザーファンド受益証券への投資を通じて、主としてインドの公益およびインフラ関連の債券に投資しました。

イーストスプリング・インド公益インフラ債券マザーファンド

主としてインドの公益およびインフラ関連の債券に投資を行い、安定した収益の確保と信託財産の中長期的な成長を目指した運用を行いました。マクロ経済分析および金利分析に加え、個別発行体に対するクレジット調査に基づく銘柄選択により、運用を行いました。

当（作成）期は、利回り上昇局面で、残存期間が短い政府機関債や社債を残存期間がより長い政府機関債や社債に入れ替え、デュレーションを長期化しました。また、国債の保有比率を戦術的に調整しました。

イーストスプリング・インド公益インフラ債券ファンド(毎月決算型)／(年2回決算型)

(毎月決算型／年2回決算型)

ベンチマークとの差異について

当ファンドにおいては、運用の基本方針に適合した、公表されている指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

分配金額は、基準価額水準・市況動向等を勘案して、以下の通りとさせていただきます。なお、留保益の運用につきましては、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。

○分配原資の内訳
(毎月決算型)

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項 目	第125期	第126期	第127期	第128期	第129期	第130期
	2025年7月11日～ 2025年8月12日	2025年8月13日～ 2025年9月10日	2025年9月11日～ 2025年10月10日	2025年10月11日～ 2025年11月10日	2025年11月11日～ 2025年12月10日	2025年12月11日～ 2026年1月13日
当期分配金 (対基準価額比率)	45 0.509%	45 0.517%	45 0.499%	45 0.498%	45 0.496%	45 0.496%
当期の収益	37	30	45	39	41	42
当期の収益以外	7	14	—	5	3	2
翌期繰越分配対象額	1,633	1,618	1,620	1,615	1,612	1,610

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

(注) ー印は該当がないことを示しています。

(年2回決算型)

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項 目	第22期
	2025年7月11日～ 2026年1月13日
当期分配金 (対基準価額比率)	— —%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	8,946

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

(注) ー印は該当がないことを示しています。

(毎月決算型／年2回決算型)

○今後の運用方針について

イーストスプリング・インド公益インフラ債券ファンド(毎月決算型)／(年2回決算型)

引き続きイーストスプリング・インド公益インフラ債券マザーファンド受益証券を高位に組み入れることにより、安定した収益の確保と信託財産の中長期的な成長を目指します。

イーストスプリング・インド公益インフラ債券マザーファンド

RBIは2025年12月の金融政策決定会合において、全会一致で政策金利の引き下げを決定するとともに、公開市場操作(OMO)による国債購入や通貨スワップなどの大規模な流動性供給策を発表しました。これらの措置は銀行システムを安定させ、金利の低下要因として作用することが考えられます。また、インド国債がブルームバーグの債券指数(Bloomberg Global Aggregate Index)に組み入れられることが期待されており、短期的な資金流入を通して国債利回りの低下が見込まれます。これらを背景に、10年物や15年物の国債の買い増しにより、戦術的にデュレーションを長期化することを検討しています。引き続き、発行企業の信用度や市場での流動性を重視しつつ、個別発行体に対するクレジット調査に基づく銘柄選定により、安定した収益の確保と信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行って参ります。

イーストスプリング・インド公益インフラ債券ファンド(毎月決算型)／(年2回決算型)

(毎月決算型)

○ 1 万口当たりの費用明細

(2025年7月11日～2026年1月13日)

項 目	第125期～第130期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 77	% 0.868	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(38)	(0.423)	委託した資金の運用の対価
(販 売 会 社)	(38)	(0.423)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(2)	(0.023)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	2	0.020	(b) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(1)	(0.013)	海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.001)	監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(印 刷)	(0)	(0.002)	目論見書および運用報告書等の法定開示書類の作成費用等
(そ の 他 1)	(0)	(0.004)	信託管理事務に係る手数料およびインドの税務代理人に対する手数料等
合 計	79	0.888	
作成期間の平均基準価額は、8,929円です。			

(注) 作成期間の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

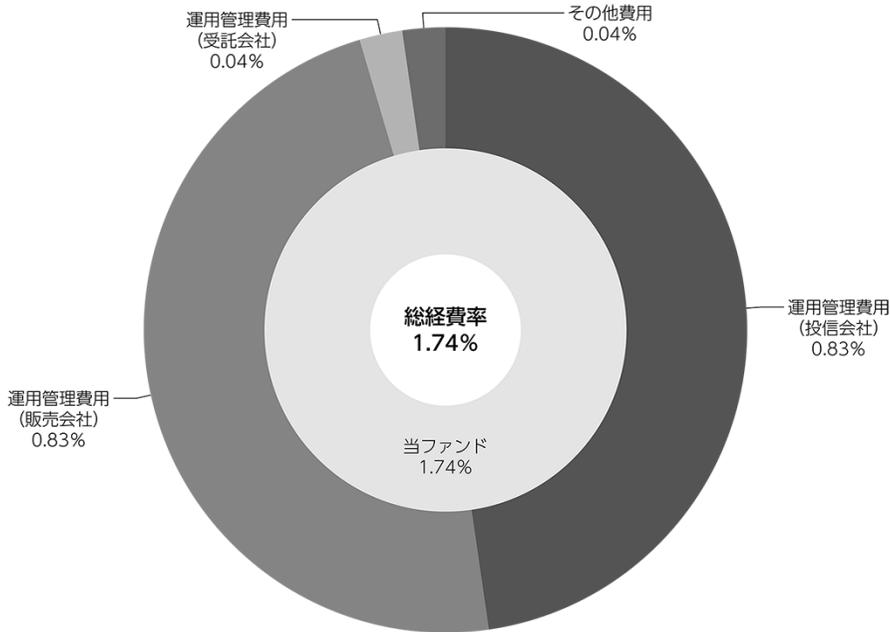
(注) その他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(毎月決算型)

(参考情報)

○総経費率

作成期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を作成期間の平均受益権口数に作成期間の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.74%です。



(注) 各費用は、1万円当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

イーストスプリング・インド公益インフラ債券ファンド(毎月決算型)／(年2回決算型)

(毎月決算型)

○売買及び取引の状況

(2025年7月11日～2026年1月13日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	第125期～第130期			
	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
イーストスプリング・インド公益インフラ債券マザーファンド	千口 420,843	千円 839,576	千口 1,894,579	千円 3,770,641

(注) 単位未満は切捨てです。

○利害関係人との取引状況等

(2025年7月11日～2026年1月13日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2026年1月13日現在)

親投資信託残高

銘柄	第124期末	第130期末	
	口数	口数	評価額
イーストスプリング・インド公益インフラ債券マザーファンド	千口 20,275,105	千口 18,801,369	千円 38,770,303

(注) 単位未満は切捨てです。

(注) マザーファンドの2026年1月13日現在の受益権総口数は、27,278,851千口です。

○投資信託財産の構成

(2026年1月13日現在)

項目	第130期末	
	評価額	比率
イーストスプリング・インド公益インフラ債券マザーファンド	千円 38,770,303	% 99.6
コール・ローン等、その他	137,309	0.4
投資信託財産総額	38,907,612	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨てです。

(注) イーストスプリング・インド公益インフラ債券マザーファンドにおいて、作成期末における外貨建純資産(54,286,365千円)の投資信託財産総額(57,693,649千円)に対する比率は94.1%です。

(注) 外貨建資産は、作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、2026年1月13日における邦貨換算レートは、1米ドル=158.28円、1インドルピー=1.77円です。

イーストスプリング・インド公益インフラ債券ファンド(毎月決算型)／(年2回決算型)

(毎月決算型)

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第125期末	第126期末	第127期末	第128期末	第129期末	第130期末
	2025年8月12日現在	2025年9月10日現在	2025年10月10日現在	2025年11月10日現在	2025年12月10日現在	2026年1月13日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	38,901,177,936	38,090,272,161	39,291,460,404	39,036,476,835	39,101,063,743	38,907,612,222
コール・ローン等	29,669,565	16,612,486	47,245,324	32,183,994	87,859,010	31,172,668
イーストスプリング・インド公益インフラ債券ファンド(開辦)	38,818,875,584	38,073,659,516	39,140,457,307	38,996,701,098	38,948,374,882	38,770,303,798
未収入金	52,632,503	—	103,757,320	7,591,435	64,829,009	106,135,244
未収利息	284	159	453	308	842	512
(B) 負債	339,783,297	265,089,370	399,408,197	290,337,757	400,553,972	390,880,085
未払収益分配金	197,111,811	196,579,224	195,030,271	194,047,256	192,806,078	191,857,106
未払解約金	82,302,068	16,612,486	151,002,644	39,775,429	152,688,019	137,307,912
未払信託報酬	60,180,031	51,541,842	52,847,294	55,809,175	54,181,808	60,641,874
その他未払費用	189,387	355,818	527,988	705,897	878,067	1,073,193
(C) 純資産総額(A－B)	38,561,394,639	37,825,182,791	38,892,052,207	38,746,139,078	38,700,509,771	38,516,732,137
元本	43,802,624,726	43,684,272,157	43,340,060,398	43,121,612,653	42,845,795,213	42,634,912,522
次期繰越損益金	△ 5,241,230,087	△ 5,859,089,366	△ 4,448,008,191	△ 4,375,473,575	△ 4,145,285,442	△ 4,118,180,385
(D) 受益権総口数	43,802,624.726口	43,684,272.157口	43,340,060.398口	43,121,612.653口	42,845,795.213口	42,634,912.522口
1万口当たり基準価額(C/D)	8,803円	8,659円	8,974円	8,985円	9,033円	9,034円

(注) 元本の状況

当ファンドの第125期首元本額は44,241,067,773円、第125～130期中追加設定元本額は2,722,665,799円、第125～130期中一部解約元本額は4,328,821,050円です。

(注) 1口当たり純資産額は、第125期0.8803円、第126期0.8659円、第127期0.8974円、第128期0.8985円、第129期0.9033円、第130期0.9034円です。

(注) 上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額(元本の欠損)となります。

イーストスプリング・インド公益インフラ債券ファンド(毎月決算型)／(年2回決算型)

(毎月決算型)

○損益の状況

項 目	第125期	第126期	第127期	第128期	第129期	第130期
	2025年7月11日～ 2025年8月12日	2025年8月13日～ 2025年9月10日	2025年9月11日～ 2025年10月10日	2025年10月11日～ 2025年11月10日	2025年11月11日～ 2025年12月10日	2025年12月11日～ 2026年1月13日
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益	14,114	14,400	15,579	10,469	20,403	17,772
受取利息	14,114	14,400	15,579	10,469	20,403	17,772
(B) 有価証券売買損益	△ 79,108,111	△ 383,923,977	1,609,305,027	298,571,132	442,352,967	261,724,237
売買益	5,219,585	2,016,373	1,614,608,047	304,271,245	451,546,030	264,460,761
売買損	△ 84,327,696	△ 385,940,350	△ 5,303,020	△ 5,700,113	△ 9,193,063	△ 2,736,524
(C) 信託報酬等	△ 60,369,418	△ 51,708,273	△ 53,019,464	△ 55,987,084	△ 54,353,978	△ 60,837,000
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 139,463,415	△ 435,617,850	1,556,301,142	242,594,517	388,019,392	200,905,009
(E) 前期繰越損益金	△ 795,386,781	△ 1,114,551,735	△ 1,715,614,072	△ 347,818,866	△ 290,565,941	△ 92,446,095
(F) 追加信託差損益金	△ 4,109,268,080	△ 4,112,340,557	△ 4,093,664,990	△ 4,076,201,970	△ 4,049,932,815	△ 4,034,782,193
(配当等相当額)	(3,926,740,668)	(3,953,651,697)	(3,951,514,269)	(3,960,524,307)	(3,982,299,844)	(3,990,833,748)
(売買損益相当額)	(△ 8,036,008,748)	(△ 8,065,992,254)	(△ 8,045,179,259)	(△ 8,036,726,277)	(△ 8,032,232,659)	(△ 8,025,615,941)
(G) 計(D+E+F)	△ 5,044,118,276	△ 5,662,510,142	△ 4,252,977,920	△ 4,181,426,319	△ 3,952,479,364	△ 3,926,323,279
(H) 収益分配金	△ 197,111,811	△ 196,579,224	△ 195,030,271	△ 194,047,256	△ 192,806,078	△ 191,857,106
次期繰越損益金(G+H)	△ 5,241,230,087	△ 5,859,089,366	△ 4,448,008,191	△ 4,375,473,575	△ 4,145,285,442	△ 4,118,180,385
追加信託差損益金	△ 4,109,268,080	△ 4,112,340,557	△ 4,093,664,990	△ 4,076,201,970	△ 4,049,932,815	△ 4,034,782,193
(配当等相当額)	(3,927,862,239)	(3,954,740,571)	(3,952,569,392)	(3,961,719,174)	(3,983,912,781)	(3,992,054,996)
(売買損益相当額)	(△ 8,037,130,319)	(△ 8,067,081,128)	(△ 8,046,234,382)	(△ 8,037,921,144)	(△ 8,033,845,596)	(△ 8,026,837,189)
分配準備積立金	3,225,678,744	3,117,607,614	3,069,292,553	3,002,964,424	2,925,883,493	2,874,993,010
繰越損益金	△ 4,357,640,751	△ 4,864,356,423	△ 3,423,635,754	△ 3,302,236,029	△ 3,021,236,120	△ 2,958,391,202

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) マザーファンドの信託財産の運用の指図に係る権限の全部又は一部を委託するために要する費用として、信託財産の純資産総額に年10,000分の37.5の率を乗じて得た金額を委託者報酬の中から支弁しています。

(注) 分配金の計算過程

第125期 計算期間末における費用控除後の配当等収益(165,054,142円)、費用控除後の有価証券売買等損益(0円)、信託約款に規定する収益調整金(3,927,862,239円)および分配準備積立金(3,257,736,413円)より分配対象収益は7,350,652,794円(10,000口当たり1,678円)であり、うち197,111,811円(10,000口当たり45円)を分配金額としております。

第126期 計算期間末における費用控除後の配当等収益(132,033,253円)、費用控除後の有価証券売買等損益(0円)、信託約款に規定する収益調整金(3,954,740,571円)および分配準備積立金(3,182,153,585円)より分配対象収益は7,268,927,409円(10,000口当たり1,663円)であり、うち196,579,224円(10,000口当たり45円)を分配金額としております。

第127期 計算期間末における費用控除後の配当等収益(197,485,188円)、費用控除後の有価証券売買等損益(0円)、信託約款に規定する収益調整金(3,952,569,392円)および分配準備積立金(3,066,837,636円)より分配対象収益は7,216,892,216円(10,000口当たり1,665円)であり、うち195,030,271円(10,000口当たり45円)を分配金額としております。

第128期 計算期間末における費用控除後の配当等収益(169,537,985円)、費用控除後の有価証券売買等損益(0円)、信託約款に規定する収益調整金(3,961,719,174円)および分配準備積立金(3,027,473,695円)より分配対象収益は7,158,730,854円(10,000口当たり1,660円)であり、うち194,047,256円(10,000口当たり45円)を分配金額としております。

第129期 計算期間末における費用控除後の配当等収益(178,616,125円)、費用控除後の有価証券売買等損益(0円)、信託約款に規定する収益調整金(3,983,912,781円)および分配準備積立金(2,940,073,446円)より分配対象収益は7,102,602,352円(10,000口当たり1,657円)であり、うち192,806,078円(10,000口当たり45円)を分配金額としております。

第130期 計算期間末における費用控除後の配当等収益(180,319,975円)、費用控除後の有価証券売買等損益(0円)、信託約款に規定する収益調整金(3,992,054,996円)および分配準備積立金(2,886,530,141円)より分配対象収益は7,058,905,112円(10,000口当たり1,655円)であり、うち191,857,106円(10,000口当たり45円)を分配金額としております。

(毎月決算型)

○分配金のお知らせ

	第125期	第126期	第127期	第128期	第129期	第130期
1万口当たり分配金(税込み)	45円	45円	45円	45円	45円	45円

◇分配金のお支払いは決算日から起算して5営業日までに開始いたします。

◇分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と非課税扱いとなる「元本払戻金(特別分配金)」があります。分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は全額普通分配金となり、分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合は、下回る部分の額が元本払戻金(特別分配金)、残りの部分が普通分配金となります。

◇元本払戻金(特別分配金)が発生した場合は、個別元本から元本払戻金(特別分配金)を控除した額がその後の新たな個別元本となります。

◇「自動けいぞく投資コース」をお申込みの場合、分配金は、税金を差引いた後、決算日の基準価額に基づいて自動的に無手数料で再投資いたしました。

○お知らせ

該当事項はありません。

イーストスプリング・インド公益インフラ債券ファンド(毎月決算型)／(年2回決算型)

(年2回決算型)

○1万口当たりの費用明細

(2025年7月11日～2026年1月13日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 143	% 0.868	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(69)	(0.423)	委託した資金の運用の対価
(販 売 会 社)	(69)	(0.423)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の 情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(4)	(0.023)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	4	0.023	(b)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(2)	(0.013)	海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の 移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.003)	監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(印 刷)	(1)	(0.004)	目論見書および運用報告書等の法定開示書類の作成費用等
(そ の 他 1)	(1)	(0.004)	信託管理事務に係る手数料およびインドの税務代理人に対する手数料等
合 計	147	0.891	
期中の平均基準価額は、16,442円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

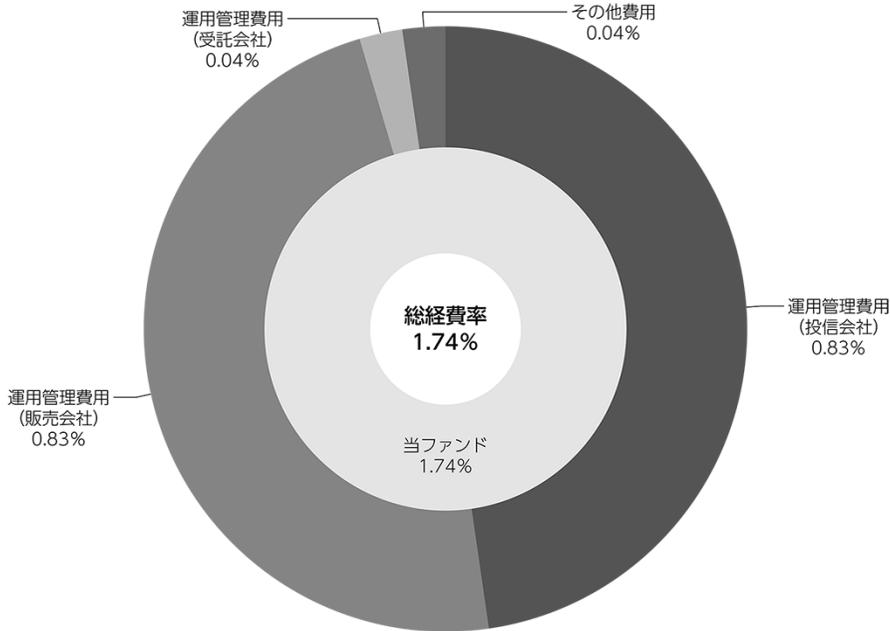
(注) その他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(年2回決算型)

(参考情報)

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.74%です。



(注) 各費用は、1万円当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

イーストスプリング・インド公益インフラ債券ファンド(毎月決算型)／(年2回決算型)

(年2回決算型)

○売買及び取引の状況

(2025年7月11日～2026年1月13日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
イーストスプリング・インド公益インフラ債券マザーファンド	千口 412,696	千円 810,745	千口 930,534	千円 1,845,950

(注) 単位未満は切捨てです。

○利害関係人との取引状況等

(2025年7月11日～2026年1月13日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2026年1月13日現在)

親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
イーストスプリング・インド公益インフラ債券マザーファンド	千口 8,995,321	千口 8,477,482	千円 17,481,416

(注) 単位未満は切捨てです。

(注) マザーファンドの2026年1月13日現在の受益権総口数は、27,278,851千口です。

○投資信託財産の構成

(2026年1月13日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
イーストスプリング・インド公益インフラ債券マザーファンド	千円 17,481,416	% 99.6
コール・ローン等、その他	75,135	0.4
投資信託財産総額	17,556,551	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨てです。

(注) イーストスプリング・インド公益インフラ債券マザーファンドにおいて、期末における外貨建純資産(54,286,365千円)の投資信託財産総額(57,693,649千円)に対する比率は94.1%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、2026年1月13日における邦貨換算レートは、1米ドル=158.28円、1インドルピー=1.77円です。

イーストスプリング・インド公益インフラ債券ファンド(毎月決算型)／(年2回決算型)

(年2回決算型)

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2026年1月13日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	17,556,551,173
コール・ローン等	19,724,355
イーストスプリング・インド公益インフラ債券マザーファンド(評価額)	17,481,416,607
未収入金	55,409,887
未収利息	324
(B) 負債	226,350,018
未払解約金	75,134,242
未払信託報酬	150,157,917
その他未払費用	1,057,859
(C) 純資産総額(A－B)	17,330,201,155
元本	10,235,632,931
次期繰越損益金	7,094,568,224
(D) 受益権総口数	10,235,632,931口
1万口当たり基準価額(C／D)	16,931円

(注) 元本の状況

期首元本額	10,774,879,570円
期中追加設定元本額	894,489,465円
期中一部解約元本額	1,433,736,104円

(注) 1口当たり純資産額は1.6931円です。

(注) 上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額(元本の欠損)となります。

○損益の状況 (2025年7月11日～2026年1月13日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	34,056
受取利息	34,056
(B) 有価証券売買損益	941,332,779
売買益	989,045,644
売買損	△ 47,712,865
(C) 信託報酬等	△ 151,215,776
(D) 当期損益金(A+B+C)	790,151,059
(E) 前期繰越損益金	2,534,269,413
(F) 追加信託差損益金	3,770,147,752
(配当等相当額)	(4,750,836,895)
(売買損益相当額)	(△ 980,689,143)
(G) 計(D+E+F)	7,094,568,224
(H) 収益分配金	0
次期繰越損益金(G+H)	7,094,568,224
追加信託差損益金	3,770,147,752
(配当等相当額)	(4,755,095,198)
(売買損益相当額)	(△ 984,947,446)
分配準備積立金	4,402,469,213
繰越損益金	△1,078,048,741

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) マザーファンドの信託財産の運用の指図に係る権限の全部又は一部を委託するために要する費用として、信託財産の純資産総額に年10,000分の37.5の率を乗じて得た金額を委託者報酬の中から支弁しています。

(注) 分配金の計算過程

計算期間末における費用控除後の配当等収益(462,837,867円)、費用控除後の有価証券売買等損益(0円)、信託約款に規定する収益調整金(4,755,095,198円)および分配準備積立金(3,939,631,346円)より分配対象収益は9,157,564,411円(10,000口当たり8,946円)ですが、当期に分配した金額はありません。

(年2回決算型)

○分配金のお知らせ

当期の分配金は、基準価額水準および市況動向等を勘案し、見送らせていただきました。

○お知らせ

該当事項はありません。

イーストスプリング・インド公益インフラ債券 マザーファンド 運用報告書

第11期（決算日：2026年1月13日）
（計算期間：2025年1月11日～2026年1月13日）

「イーストスプリング・インド公益インフラ債券マザーファンド」の第11期の運用状況をご報告申し上げます。

当マザーファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	主としてインドの公益およびインフラ関連の債券（以下「公益インフラ債券」）に投資を行い、安定した収益の確保と信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	インドの公益インフラ債券を主要投資対象とします。
組入制限	・外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。 ・株式（新株引受権証券および新株予約権証券を含みます。）への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以内とします。

○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準	価 額		債 組 入 比 率	純 資 産 額
		期 騰 落	中 率		
	円		%		百万円
7期(2022年1月11日)	14,352		12.9	88.0	39,268
8期(2023年1月10日)	15,300		6.6	91.5	36,613
9期(2024年1月10日)	17,693		15.6	91.6	55,193
10期(2025年1月10日)	20,088		13.5	92.0	63,791
11期(2026年1月13日)	20,621		2.7	92.3	56,251

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てです。

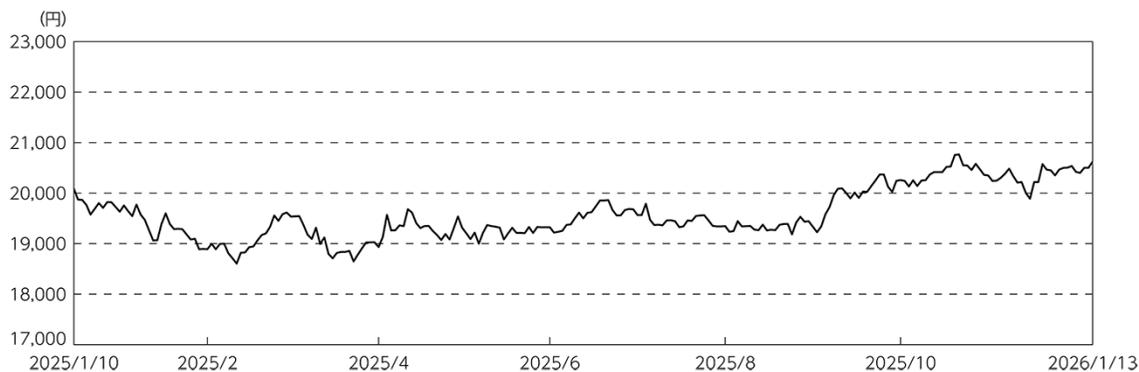
(注) 当ファンドは公表されている適切な指数が存在しないためベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

○当期中の基準価額等の推移

年 月 日	基 準	価 額		債 組 入 比 率
		騰 落	率	
(期 首) 2025年1月10日	円		%	%
	20,088		—	92.0
1月末	19,545		△2.7	89.0
2月末	18,890		△6.0	88.8
3月末	19,536		△2.7	91.4
4月末	18,933		△5.7	89.5
5月末	19,315		△3.8	90.8
6月末	19,325		△3.8	90.4
7月末	19,566		△2.6	92.6
8月末	19,347		△3.7	90.2
9月末	19,444		△3.2	92.3
10月末	20,258		0.8	92.5
11月末	20,580		2.4	89.7
12月末	20,505		2.1	90.9
(期 末) 2026年1月13日	20,621		2.7	92.3

(注) 騰落率は期首比です。

基準価額の推移について



基準価額の主な変動要因

当期の基準価額は上昇しました。

(上昇要因)

- ・債券価格の上昇。

投資環境について

インド債券市場

インド10年国債利回りは低下（価格は上昇）しました。

当期初から、インド準備銀行（RBI、中央銀行）が金融緩和を行うとの観測から、インド国債利回りは低下しました。RBIはインド国内のインフレの減速を確認しつつ、2025年1月下旬から国債の買入れ、変動金利レボ（VRR）入札、通貨スワップなどの金融システムに流動性を供給する措置を発表し、その後2月、4月、6月の金融政策決定会合でそれぞれ政策金利を0.25%、0.25%、0.50%引き下げました。RBIが6月の会合で政策金利を市場予想よりも大幅に引き下げるとともに、金融政策スタンスを「緩和的」から「中立」に変更したことによって、更なる利下げ余地は限定的と市場参加者に受け止められ、その後インド国債利回りは上昇に転じました。8月には米国による対インド関税（最大50%）の発動や、GST（物品・サービス税）減税案による財政赤字拡大への懸念が背景となり、インド国債利回りは大きく上昇しました。10月以降はインドのインフレ率が減速し、RBIは12月の会合で政策金利を0.25%引き下げましたが、インド国債利回りは横ばい圏で推移しました。社債の対国債スプレッドは拡大しました。

為替市場

インドルピーは、当期を通じて対米ドルで下落しました。インドの金融緩和や米国との貿易交渉をめぐる関係悪化がインドルピー安の要因となりました。当期末に向けて、米国との貿易交渉の合意期限が当初よりも後ろ倒しとなったことが市場の懸念を高め、インドルピーは対米ドルで最安値を更新し続けました。米ドル円相場では、2025年1月に日銀が利上げを行いました。市場の追加利上げへの思惑から、日本国債利回りはその後も上昇し続け、日米金利差の縮小を背景に円高米ドル安が進みました。4月に米トランプ政権の関税政策により市場がリスクオフとなると、米国の金融政策の方向性や財政政策に不透明感が漂い、米ドル円は一段と円高米ドル安となりました。5月以降には再び円安基調に転じました。日銀は11月までトランプ関税の経済への影響や日本国内の賃金・物価動向を慎重に見極める姿勢を示し利上げを先送りしました。その一方、米連邦準備制度理事会（FRB）は9月以降、複数回の利下げを実施しました。しかし、日本政府による積極的な財政運営に対する財政悪化懸念などから長期金利が上昇し、円は対米ドルで下落基調をたどり、当期を通してみると、インドルピーは対円で下落しました。

ポートフォリオについて

主としてインドの公益およびインフラ関連の債券に投資を行い、安定した収益の確保と信託財産の中長期的な成長を目指した運用を行いました。マクロ経済分析および金利分析に加え、個別発行体に対するクレジット調査に基づく銘柄選択により、運用を行いました。

当期は、2025年5月までの利回り低下局面で国債をよりキャリーが高い社債に入れ替え、利回り上昇局面に備えて防御的なポジションを構築しました。6月以降の利回り上昇局面では、残存期間が短い政府機関債や社債を残存期間がより長い政府機関債や社債に入れ替え、デュレーションを長期化しました。また、国債の保有比率を戦術的に調整しました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドにおいては、運用の基本方針に適合した、公表されている指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

○今後の運用方針について

RBIは2025年12月の金融政策決定会合において、全会一致で政策金利の引き下げを決定するとともに、公開市場操作（OMO）による国債購入や通貨スワップなどの大規模な流動性供給策を発表しました。これらの措置は銀行システムを安定させ、金利の低下要因として作用することが考えられます。また、インド国債がブルームバーグの債券指数（Bloomberg Global Aggregate Index）に組み入れられることが期待されており、短期的な資金流入を通して国債利回りの低下が見込まれます。これらを背景に、10年物や15年物の国債の買い増しにより、戦術的にデュレーションを長期化することを検討しています。引き続き、発行企業の信用度や市場での流動性を重視しつつ、個別発行体に対するクレジット調査に基づく銘柄選定により、安定した収益の確保と信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行って参ります。

○1万口当たりの費用明細

(2025年1月11日～2026年1月13日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用	円 7	% 0.038	(a)その他費用=期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(6)	(0.030)	海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ そ の 他 1 ）	(1)	(0.007)	信託管理事務に係る手数料およびインドの税務代理人に対する手数料等
（ そ の 他 2 ）	(0)	(0.000)	権利に係る税金、費用等
合 計	7	0.038	
期中の平均基準価額は、19,603円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2025年1月11日～2026年1月13日)

公社債

			買 付 額	売 付 額
外 国	インド		千インドルピー	千インドルピー
		国債証券	7,355,182	7,545,978
		地方債証券	244,883	—
		特殊債券	4,539,359	6,193,791 (100,000)
	社債券（投資法人債券を含む）	9,473,721	10,157,341 (245,000)	

(注) 金額は受渡し代金です（経過利子分は含まれておりません。）

(注) 単位未満は切捨てです。

(注) ()内は償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注) 社債券（投資法人債券を含む）には、新株予約権付社債（転換社債）は含まれておりません。

○利害関係人との取引状況等

(2025年1月11日～2026年1月13日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2026年1月13日現在)

外国公社債

(A) 外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
インド	千インドルピー 29,238,000	千インドルピー 29,349,118	千円 51,947,940	% 92.3	% 9.5	% 41.8	% 16.3	% 34.2
合 計	29,238,000	29,349,118	51,947,940	92.3	9.5	41.8	16.3	34.2

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 額面金額・評価額の単位未満は切捨てです。

(注) 一印は組入れなしです。

(注) BB格以下組入比率の計算においては、S&Pおよびムーディーズの発行体格付けをもとに、当社が独自の基準で採用した格付けを用いています。なお、無格付けの債券組入比率は32.1%です。

(B)外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄	柄	当 期 末				償還年月日	
		利 率	額面金額	評 価 額			
				外貨建金額	邦貨換算金額		
		%	千インドルピー	千インドルピー	千円		
インド	国債証券	6.68% INDIA GOVT BOND	6.68	1,250,000	1,215,530	2,151,488	2040/7/7
		7.09% INDIA GOVT BOND	7.09	2,500,000	2,427,490	4,296,657	2054/8/5
		7.24% INDIA GOVT BOND	7.24	500,000	496,382	878,596	2055/8/18
		7.34% INDIA GOVT BOND	7.34	1,500,000	1,481,160	2,621,653	2064/4/22
		7.88% INDIA GOVT INDIA GOVERNMENT BOND	7.88	10,000	10,575	18,719	2030/3/19
		6.82	500,000	520,217	920,785	2033/9/22	
	地方債証券	6.98% MAHARASTRA	6.98	250,000	241,939	428,233	2037/6/25
	特殊債券 (除く金融債)	7.22% EXPORT-IMPORT BK I	7.22	500,000	502,165	888,833	2027/8/3
		7.25% EXPORT-IMPORT BK I	7.25	100,000	100,394	177,697	2027/2/1
		7.48% NABARD	7.48	500,000	505,492	894,722	2028/9/15
		7.55% SMALL IND DEV BNK	7.55	500,000	500,875	886,548	2026/9/22
		7.58% NABARD	7.58	200,000	200,282	354,499	2026/7/31
		7.8% NABARD	7.8	1,500,000	1,514,004	2,679,788	2027/3/15
	普通社債券 (含む投資法人債券)	8.52% HOUSING & URBAN DE	8.52	478,000	498,155	881,735	2028/11/28
		6.81% REC LTD	6.81	250,000	240,333	425,390	2036/4/30
		6.92% DLF CYBER CITY DEV	6.92	1,000,000	996,599	1,763,980	2028/7/28
		6.92% REC LTD	6.92	250,000	247,471	438,024	2032/3/20
		7.17% INDIAN RAILWAY FIN	7.17	500,000	496,178	878,235	2035/4/27
		7.23% POWER FINANCE CORP	7.23	250,000	250,462	443,317	2027/1/5
		7.24% POWER FINANCE CORP	7.24	500,000	497,566	880,691	2035/1/15
		7.27% NATL HIGHWAYS AUTH	7.27	500,000	500,708	886,253	2035/2/24
		7.27% TATA CAPITAL HSG F	7.27	300,000	299,645	530,372	2028/4/25
		7.45% REC LTD	7.45	500,000	504,296	892,604	2035/8/31
		7.48% INDIAN RAILWAY FIN	7.48	250,000	253,923	449,444	2029/8/13
		7.61% LIC HOUSING FINANC	7.61	1,150,000	1,156,720	2,047,395	2034/8/29
		7.63% POWER FINANCE CORP	7.63	350,000	350,775	620,872	2026/8/14
		7.65% AXIS BANK LTD	7.65	250,000	251,492	445,141	2027/1/30
		7.71% LIC HOUSING FINANC	7.71	250,000	254,002	449,585	2033/5/9
		7.75% HDFC BANK LTD	7.75	250,000	254,583	450,613	2033/6/13
		7.8% HDFC BANK LTD	7.8	1,200,000	1,225,115	2,168,453	2033/5/3
		7.97% HDFC BANK LTD	7.97	500,000	514,953	911,468	2033/2/17
		8% TATA CAPITAL HSG FINA	8.0	500,000	505,555	894,833	2027/11/3
		8.05% MUTHOOT FINANCE LT	8.05	500,000	502,731	889,834	2027/11/25
8.0736% HDB FINANCIAL SE		8.0736	500,000	500,561	885,993	2026/4/17	
8.14% NUCLEAR POWER CORP		8.14	50,000	50,151	88,767	2026/3/25	
8.277% SMFG INDIA CREDIT		8.277	500,000	504,090	892,240	2027/3/12	
8.3% GODREJ PROPERTIES		8.3	500,000	505,002	893,854	2027/3/19	
8.3% REC LIMITED	8.3	750,000	779,879	1,380,387	2029/3/23		
8.4% GODREJ INDUSTRIES L	8.4	250,000	252,450	446,837	2027/8/27		
8.4% GODREJ PROPERTIES	8.4	650,000	661,399	1,170,677	2028/1/25		
8.4% TORRENT POWER LTD	8.4	300,000	304,737	539,384	2028/1/18		
8.4% TORRENT POWER LTD	8.4	300,000	307,035	543,453	2029/1/18		
8.42% GODREJ INDUSTRIES	8.42	500,000	506,383	896,298	2027/12/27		
8.52% MUTHOOT FINANCE LT	8.52	150,000	152,041	269,113	2028/4/7		
8.6% MUTHOOT FINANCE LTD	8.6	400,000	405,980	718,585	2028/3/2		

銘	柄	当 期 末					
		利 率	額面金額	評 価 額		償還年月日	
				外貨建金額	邦貨換算金額		
インド		%	千インドルピー	千インドルピー	千円		
	普通社債券 (含む投資法人債)	8.65% BHARTI TELECOM LTD	8.65	150,000	152,716	270,308	2027/11/5
		8.75% SHRIRAM FINANCE LT	8.75	1,000,000	1,006,530	1,781,558	2026/10/3
		8.9% MUTHOOT FINANCE LTD	8.9	200,000	203,613	360,396	2027/10/7
		8.92% JM FINANCIAL PRODU	8.92	1,000,000	1,002,856	1,775,055	2026/11/16
		8.97% MUTHOOT FINANCE LT	8.97	750,000	758,877	1,343,212	2027/1/18
		9.05% CHOLAMANDALAM INVT	9.05	1,000,000	1,022,655	1,810,099	2032/3/6
		9.4% VEDANTA LTD	9.4	250,000	251,081	444,415	2027/2/20
		9.5% VEDANTA LTD	9.5	500,000	503,292	890,827	2027/8/20
合	計					51,947,940	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 額面金額・評価額の単位未満は切捨てです。

○投資信託財産の構成

(2026年1月13日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公社債	51,947,940	90.0
コール・ローン等、その他	5,745,709	10.0
投資信託財産総額	57,693,649	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨てです。

(注) 外貨建純資産 (54,286,365千円) の投資信託財産総額 (57,693,649千円) に対する比率は94.1%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、2026年1月13日における邦貨換算レートは、1米ドル=158.28円、1インドルピー=1.77円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2026年1月13日現在)

項 目	当 期 末	円
(A) 資産	57,693,649,652	
コール・ローン等	3,827,256,638	
公社債(評価額)	51,947,940,173	
未収利息	1,514,734,612	
前払金	26,063,547	
前払費用	377,654,682	
(B) 負債	1,442,133,051	
未払金	1,280,587,920	
未払解約金	161,545,131	
(C) 純資産総額(A-B)	56,251,516,601	
元本	27,278,851,853	
次期繰越損益金	28,972,664,748	
(D) 受益権総口数	27,278,851,853口	
1万口当たり基準価額(C/D)	20,621円	

(注) 元本の状況

期首元本額	31,755,367,484円
期中追加設定元本額	1,333,468,777円
期中一部解約元本額	5,809,984,408円
期末における元本の内訳	
イーストスプリング・インド公益インフラ債券ファンド(毎月決算型)	18,801,369,380円
イーストスプリング・インド公益インフラ債券ファンド(年2回決算型)	8,477,482,473円

(注) 1口当たり純資産額は2,0621円です。

(注) 上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額(元本の欠損)となります。

○損益の状況 (2025年1月11日～2026年1月13日)

項 目	当 期	円
(A) 配当等収益	3,752,984,750	
受取利息	3,752,984,750	
(B) 有価証券売買損益	△ 2,511,819,606	
売買益	822,656,934	
売買損	△ 3,334,476,540	
(C) 保管費用等	△ 21,515,952	
(D) 当期損益金(A+B+C)	1,219,649,192	
(E) 前期繰越損益金	32,036,164,262	
(F) 追加信託差損益金	1,282,917,441	
(G) 解約差損益金	△ 5,566,066,147	
(H) 計(D+E+F+G)	28,972,664,748	
次期繰越損益金(H)	28,972,664,748	

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

○お知らせ

該当事項はありません。